

2015年冬
社員総会レポート



NEWS LETTER 遊文通信

2015年12月発行

56

さらなる
顧客満足の
向上誓う



社長の熱血トーク



今回の司会は
若手カップル



永年勤続などの表彰式も

2015年冬 社員総会レポート

わが社では上半期（1～6月）、下半期（7～12月）期間の総まとめの報告会を社員全員参加で行っています。今年度は12月5日（土）、新大阪のメルパルクで行いました。

まずは社長から2015年度の総括と来年度の展望についての報告。

今期は増収増益、創業以来初の年商7億3,000万円を達成できた。社員のがんばりおよびお取引先の皆様にも深く感謝するとともに、さらなる顧客サービスを追及して飛躍をめざしていきたいと述べました。

その後、今期の3大トピックスの報告、営業部、業務部からのそれぞれ熱のこもった発表がありました。それぞれがあまりにも力が入っていたため、タイムオーバーとなってしまう、一部を忘年会に回すハプニングも。それぐらい内容の濃い熱い社員総会となりました。

その後の忘年会が最高に盛り上がったのはいうまでもありません。

中には羽目を外して、朝まで呑み歩くグループも…

（コーマドーフ）



裏面のトピックスに続く

忘年会の司会は絶対DJ

TOPICS

1

デジタルプリント事業部の展開

今年7月より準備を進めていたデジタルプリント事業部が11月21日のゼロックス社最速機 Nuvera 288導入をもって体制が整いました。

これで、ゼロックス社のデジタル印刷機4台(カラー2台 = Color 1000・Color 800、モノクロ2台 = Nuvera 288・D125 Printer)のラインナップとなります。



デジタルプリントは、オンデマンド印刷(要求があり次第、迅速に印刷)とバリエーション印刷(1枚1枚違った情報を印刷)の機能により、多様に変化する市場ニーズに対応できます。

従来のオフセット印刷では困難であった短納期・少数の冊子も印刷から製本までのワークフローのワンストップで可能になります。

例えば、従来では最短でも4営業日以上が必要であったA4判300頁300冊の冊子が、デジタルプリントでは最短2営業日で納品可能となります。

顧客需要が年々増加しているWebビジネス(すぐスール)の対応にも大きな効果が期待できます。

このように、デジタルプリント事業部は遊文舎の潜在能力と印刷需要の裾野を広げることにより、さらなる顧客満足度を高めるものと大いに期待できる部門です。(ナヘムラー)

TOPICS

2

xmf-remote のめざすもの

遊文舎がMIS「ぷぶり」を自社開発して15年になりますが、工程管理・原価管理の「見える化」が社内活性化の一要因になっていると言えます。

この「見える化」を更に強化し、顧客満足と従業員満足の双方を追求しようと、xmf-remoteを導入して半年になります。

● xmf-remote とは

FUJIFILMが推奨するワークフローです。制作から印刷までの工程の流れの中心におくことで、社外からお客や営業が校正を確認したり製版が事前に面付けしたりでき、アップされている最終校正の状態での印刷できるので下版ミスも削減できます。見える化、効率化に大きく貢献するシステムで全国で導入が拡大中です。

まだテスト中ですが、まずは制作—製版の流れをxmf-remoteに集中し、全社に拡大していきます。そして次のステップとして、お得意先や外部スタッフにひろげて

いきます。

使いこむ事によって新しい使い方が生まれてくるので、営業の武器としていろいろ提案できるよう、顧客視線を意識してすすめていきます。

まだ全国的にたちあげ実績が少ないとのことですが、遊文舎が先進事例となるくらいの意気込みで取り組んでいます。今後の顧客サービスの飛躍が期待できるツールだと思いますのでご期待ください。(たけうちとおる)



● 編集後記 ●

2015年ももう終わり。2015年はなにがあったかと思ったら私、転勤しました。東京へきてもう半年が経ち、年も変わろうとしています。東京でなにをできるのかと考えていましたが、まだ形になっていない気がします。2016年は気持ち一新して頑張りたいと思います。今年1年もお愛読頂きまして、ありがとうございました。(ぼっしー)